

2016年
2月号

カトリック篠丘教会

教会 ニュース

福岡市中央区篠丘1-16-1
☎761-4504 F761-4524
広報委員会

福岡教区今年度の目標…「信仰の伝達」
小教区今年度のテーマ…「学び、伝えよう、家庭から私たちの信仰を」

隠したことを見ておられる父



主任司祭 遠山満

今月の5日、私達は日本26聖人殉教者を祝いました。日本の教会には他にも、聖トマス西と15聖人殉教者や、205福者殉教者、188福者殉教者が聖人・福者とされています。205福者殉教者や、188福者殉教者の中には、アウグスチノ会の会員もいます。私達は、天国にいる聖人・福者と言う時、しばしば、このような人たちのことだけを考えてしまいがちです。しかし、天国には、もっと沢山の聖人達がいらっしゃるはずです。天国にいる人たちを聖人と言うのであれば、私達の家族の中にも聖人がいらっしゃるはずです。その方たちは、この世で密かに人の為に活躍された人たちです。そういう意味で天国は、野の花が沢山咲き乱れている野原に似ていると思います。大きい華やかな花もあれば、小さく密やかに咲いている花もあります。皆、それぞれ神様から与えられた場があり、そこで満足して咲いているのだと思います。

ところで、日本の教会で、四旬節にも花を生けることの許可が正式な形で出されました。このことは、日本の伝統を鑑みて判断して下さった司教団のお陰です。ただ四旬節には、慎ましい形で花を生ける必要があります。祭壇の際に慎ましい形で活けられている花は、日本のわびさびの文化を私たちに思い起こさせてくれます。と同時に、私は別の事も、私たちに思い起させてくれるのではないかと思っています。それは、名も知れず、人の為に生きている人々です。その人々は、天国にいる名も知れない聖人達のようです。

イエス様は弟子たちに言われました。「善行する時（また祈る時、あるいは断食する時）、人目に付かないようにしなさい」。「そうすれば、隠したことを見ておられる天の父が、あなたに報いて下さる」（マタイ6章1～6、16～18）と。天の御父は隠したことを見ておられます。隠したことを大事にしなさいといエス様が言われる時は、天の御父も隠れた形で私たちに善行をして下さっているからです。

四旬節の間、祭壇に慎ましく飾られている花を見ながら、密かに人の為に働いている人たちの事、また密かに私達の世話を下さっている天の父の事を思い起しましょう。そして、私達も、天の御父のように、また、その人々のようになっていくことができますように祈りましょう。

カトリック笛丘教会 拡大信者会議事録

開催日時：2016年2月7日（日）11：40～12：40

開催場所：信徒会館

司会：川原

書記：牧山



始めの祈り—主の祈り

1. 松尾神学生莊厳誓願式・祝賀会について

2月20日（土）午前11時から式典（約2時間）、その後祝賀会。取りまとめは柴田神父様。祝賀会の食事・飲み物、会場設営はケータリング業者に頼む。費用はアウグスチノ修道会負担。

180名規模を想定。笛丘小教区からは現在63名程参加希望あり。

小教区の役割として、①受付、②案内・誘導、③お茶等の接待、④誓願式の司会、⑤祝賀会の司会、⑥席札の準備等がある。拡大信者会の後で話し合いを行う。

2. 防災、防火体制について

通報係り、初期消火係り、避難誘導係りを決めて消防計画を作成しなければならないが、誰が教会に来ているか分らないという特殊事情が教会にはある。そこで、ミサ中に火災が発生した場合は発見者が神父様に報告し、消防署への通報は神父様、初期消火は朗読奉仕者、避難誘導は司会者と決めておく。後日典礼奉仕者の中からそれぞれの係のメンバー表を作成配布する。3/6（日）10時のミサ後に訓練を予定する。車いすを1台購入する予定。

3. 教会運営メンバー募集について

小教区組織内の係りを掲示し、一人一役の届出をしてもらうようカードを準備する。届け出が済んだら、それぞれの係りのリーダーを決め、横の連携が図れるようにしたい。

4. 来年度役員について

副会長の前田（美）さんが4年間役員を務め退任を希望している。立候補か推薦よろしくお願いします。

残りの役員は総会の承認が得られれば留任する予定。

5. その他

・バザーは5/8（日）に予定する

・総会は4/17を予定していたが、遠山神父様都合により4/10に変更する。

・四旬節の默想会は3/20指導司祭は大山悟神父様 ゆるしの秘跡にオチョア神父様が来られる。

・灰の水曜日2/10 四旬節中、毎週金曜日夜7時から十字架の道行が始まる。

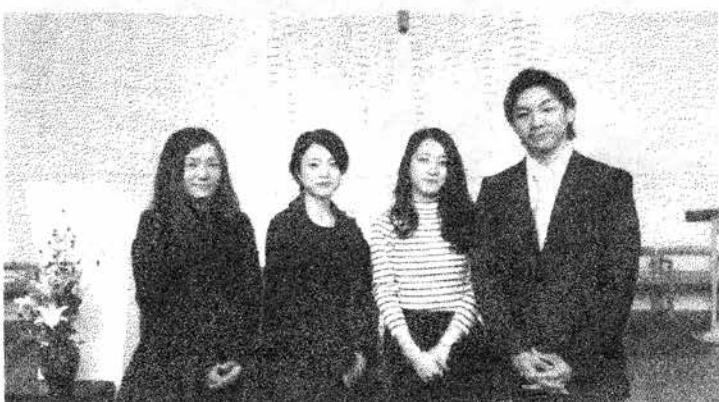
・幼稚園の主任を長年務めてくれたシスター加藤が、転倒骨折して手術を受けるのでお祈りを。

終わりの祈り—アヴェ・マリアの祈り



新成人おめでとうございます

1月10日 新成人の祝福ミサが行われた。新成人を迎えた14人のうち、この日は4人が参加した。それぞれにこれまでの感謝と、これから決意を語った。



2015 新年会

1月17日に恒例の新年会が開かれました



見事なオカリナの音色



笹丘ファミリア合唱団

信仰のルーツ コーナー

原点は父

これが信仰といえるかどうか私にはわかりません。でも今にして思えば原点は父にあったのでは！

幼少の頃、父がモラロジー（道徳科学）に連れて行ってくれた事を思い出します。最高道徳とは、第一は日本の天照大神を中心とする所の道徳系統。第二は中国の孔夫子を中心とする所の道徳系統。第三は印度の釈迦如来を中心とする所の道徳系統。第四はユダヤのイエスキリストを中心とする所の道徳系統。第五はギリシャのソクラテスを中心とする所の道徳系統。此の五つの道徳系統に一貫する思想及び道徳の原理を指します。

父は一介の大工さん（建築請負）であったのにいろんな事を勉強していた様です。

父の教えは人がいやがる事はしてはいけない。自分がしてほしくない事は人にもしてはいけない。トイレに入った時は次の人気がスリッパを履きやすい様に等々。我家の台所が火の車でも困った人がいたらそちらを優先にしていました。

縁あってカトリック信者になった時、その教えは同一だと感じました。今はとても幸せな気持ちで一杯です。マリア様を通して心から願う事により可能が生み出されて、信じて生きる事の喜びを大切に歩んで行きたいです。

(E. I)



編集後記

京都大学から広まった輪読会・読書会、または勉強会の形式で「知的書評合戦」とも呼ばれている「ビブリオバトル (Bibliobattle)」というものがある。

順番に一人5分間で本を紹介し、全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなつたか?」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする大会があちこちで行われているそうだ。

昨年、西南大学の特別講座として直木賞作家の道尾秀介氏の座談会があり、友人に誘われて行ってきた。見かけも素敵だが、いろいろな視点を持ち一つのジャンルに縛られない自由人という感じのとても魅力的な方だった。

以来、にわか道尾ファンとなり10冊ほど彼の本を読んだ。純文学あり、どんでん返しのトリックあり、ミステリーあり、ユーモアあり、エッセイあり、どれを読んでも面白い。また、彼の小説の中には、すごくイヤな人間、とことん悪い人間というのが出てこなくて、一言で言えば、人間に対する視点がとてもあたたかい。

対談の中で彼が「自分は、小説の中で人の救いを書きたいと思ってるんです」と言われたのが印象的だったのだが、確かにどの本にも心の琴線に触れる、温かさに涙が出る箇所がある。もし、最初に読むとしたらーーと聞かれたら、まず「ノエル」をオススメ。

人の救いというものが一番よく味わえる一冊だと思う。

以上、個人的”ビブリオバトル”でした。

(F.K)